

経済産業省「繊維製品の環境配慮設計ガイドライン」を発行

繊維製品における環境配慮設計に対する取組みを推進するため、「環境配慮設計ガイドライン」が策定されました。国内事業者へのアンケートや、EUのエコデザイン規則の動向を踏まえ、繊維製品のライフサイクルの各段階で環境配慮設計項目が設定されています。

事業者が取り組むべき環境配慮設計項目とその目的

環境配慮設計項目	目的
①環境負荷の少ない原材料の使用	- 資源枯渇問題への対応 - 環境負荷の低減
②GHG排出抑制、省エネルギー	- 省エネによる環境負荷低減 - GHG排出抑制による地球温暖化対策 - 製品のライフサイクルでの環境負荷の低減
③安全性への配慮	- 環境（自然環境、労働環境）のリスクの低減 - 人体へのリスクの排除 - 関係法令の遵守（有害物質の使用制限、環境負荷物質の排出抑制・管理）
④水資源への配慮	水資源の使用の抑制による地球環境の保全
⑤廃棄物の抑制	廃棄物の発生の抑制による環境負荷低減
⑥包装材の抑制	- 包装材の省資源、リサイクル等の推進 - 包装材の減量化、減容化による環境負荷低減 - 運搬の効率化（包装、ダンボールなどの再利用など）
⑦繊維くずの発生抑制	- 廃棄物の抑制による環境負荷低減 - 海洋プラスチックの流出抑制
⑧長期使用	製品の長期使用による資源の有効利用、廃棄物の抑制
⑨リペア・リユースサービスの活用	- 資源の有効利用の促進 - 廃棄物の抑制による環境負荷低減
⑩易リサイクル設計	- 資源の循環利用の促進 - 限りある資源の有効活用 - リサイクルの容易化
⑪繊維製品のリサイクル	- 資源の循環利用の促進 - 限りある資源の有効活用 - 使用済み衣類等の廃棄物の減少



2030年をターゲットイヤーとして、
環境配慮設計ガイドラインの企業普及率80%の目標が掲げられており、
今後、事業者及び消費者への普及活動、規格化（JIS、ISO）が予定されています。

上記の内容についてご不明な点等ございましたら、こちらまでお問い合わせください。

品質支援事業本部

東京 03-6863-8730
大阪 06-6577-0209



Instagramやってます！！